

2024 年 8 月

## AI とセキュリティが未来のサーバー環境の新しいスタンダードを確立

Scott Sinclair (プラクティス ディレクター)

e-book 全文は[こちらからお読みください。](#)

### 概要

サーバー インフラストラクチャは、イノベーションから社内運用、カスタマー エンゲージメントに至るまで、デジタル ビジネスのあらゆる側面の基盤を提供します。今、AI によって定義される新たな時代に企業が移行するにつれて、コンピューティング インフラストラクチャをモダナイズするニーズは最優先事項になっています。

TechTarget の Enterprise Strategy Group は、中小・中堅企業(SMB)がこの新しい AI アプリケーション時代に向けたサーバーのモダナイゼーションに関してどのようなアプローチをとっているのかについてインサイトを得るために、世界中の SMB（従業員数 50～750 人）の IT プロフェッショナル 350 人を対象とする調査を実施しました。<sup>1</sup>その結果、モダン コンピューティングにおけるハイブリッドクラウドの現状や、組織が AI イニシアチブを支えるためにモダナイゼーションの取り組みを非常に重視していることなど、複数のインサイトが明らかになりました。

### 分析

SMB にとって、モダン コンピューティング環境は分散していて、オンプレミスとオフプレミス双方の複数の場所にまたがっています。調査に参加した組織のうち 4 分の 3 以上が、各導入場所（パブリッククラウド SaaS、パブリッククラウド IaaS、プライベートクラウド、オンプレミス サーバー環境）がコンピューティング環境に占める割合は中程度以上であることを強調しています。

**大部分の SMB が「インフラストラクチャのすべての種類や場所を利用している」と報告し、75%以上が「それぞれがコンピューティング環境全体に占める割合は中程度以上である」と述べています。**

人工知能の進歩に対する期待が高まる中で、組織はそれに追いつくためにテクノロジー ランドスケープをアップグレードする準備を進めています。Enterprise Strategy Group の調査によると、41% の組織が今後 12 か月間でハイブリッドクラウドやパブリッククラウドのインフラストラクチャに対する投資を計画している一方で、ほぼ 3 分の 1 の組織が GPU オプションを備えた AI 最適化サーバー(32%)やデータセンター コンピューティング インフラストラクチャ(28%)に対する投資を計画しています。この傾向によって浮き彫りになつたのが、堅牢かつ未来志向のテクノロジー インフラストラクチャに投資することで、デジタルの競争における優位性を維持し続けることの重要性でした。

ハイブリッドクラウドとパブリッククラウドの割合は、計画されているデータセンター投資の割合をわずかに上回りましたが、その傾向は明らかです。つまり、パブリッククラウド サービスの柔軟性とオンプレミス インフラストラクチャの制御を組み合わせたハイブリッドクラウド アプローチが当たり前になりつつあります。注目すべきは、35%の組織

**80%以上の SMB が、統合型セキュリティ、ハイブリッドクラウド、AI ワークロードを稼働させる能力が「非常に重要」または「重要」であると考えています。**

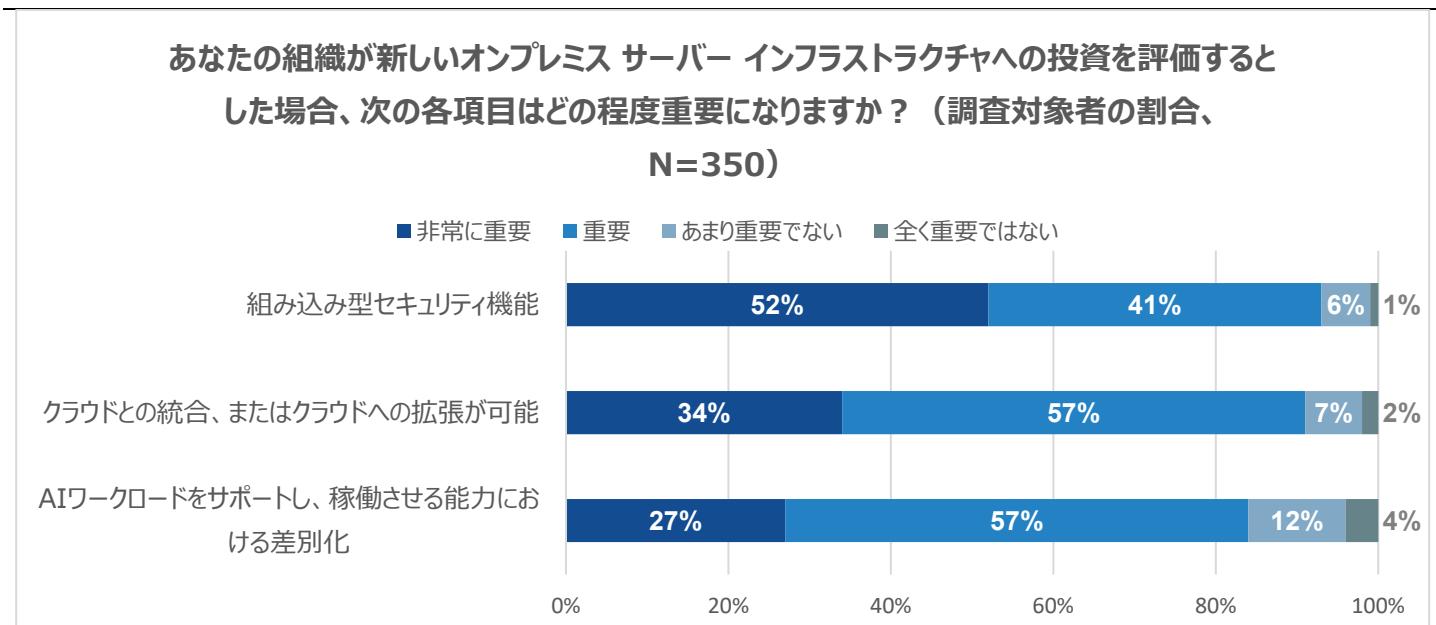
<sup>1</sup>出典：Dell の委託による Enterprise Strategy Group のカスタム調査、『Client, Server, and Storage SMB Pain Points』（2024 年 1 月）。

この Enterprise Strategy Group エグゼクティブ サマリーは、Dell の委託を受けて作成されたものであり、TechTarget, Inc. から使用許諾を受けて配布されています。

がワークフローをパブリッククラウドからオンプレミスに回帰させていることです。この動きを主に推進しているのはセキュリティリスクを軽減したいという願望であり、38%が主な要因としてセキュリティインシデントを挙げています。加えて、34%がパブリッククラウドに関連するコストが予測不可能なことを動機として挙げており、33%がセキュリティ対策の実装が困難であると考えています。この傾向により、デジタルでつながる時代において、セキュアでバランスのとれた IT 戦略の重要性が高まっていることが際立っています。

こうしたオンプレミス回帰の取り組みは、「モダン ハイブリッドクラウド環境では、組織がアプリケーション環境全体の最適化を目指しているため、アプリケーションの移行が双方向で発生する」という現実を明らかにしています。その結果、SMB はオンプレミス サーバー環境をモダナイズするニーズをますます認識するようになっています。Enterprise Strategy Group の調査によると、SMB がデータセンター サーバーの機能として「非常に重要」または「重要」だと考えているのは、組み込み型セキュリティ(93%)、ハイブリッドクラウドの統合(91%)、AI ワークロードのサポート(84%)です（図 1 を参照）。つまり、サーバー テクノロジーを選択する際に重要なのは、パフォーマンスやコストだけではないということです。組み込み型セキュリティ機能、クラウドと連係する能力、そして AI のサポートが新たな標準になりつつあります。

図 1. データセンター サーバーに不可欠なのはセキュリティ、AI、ハイブリッドクラウドの各機能



出典：Enterprise Strategy Group (TechTarget, Inc.の部門)

## 結論

SMB は、AI の重要性が予想されることを踏まえて、この新しい時代における競争力を維持するため、オンプレミスとクラウド コンピューティングに対して積極的に投資を行っています。どのサーバー テクノロジーを優先するのか決める際には、統合型セキュリティ、ハイブリッドクラウド機能、そして AI ワークロードを最適な形でサポートする能力を、データセンターやクラウドに対する新規のサーバー投資に関する評価基準に含める必要があります。

## デル・テクノロジーズ、インテル、Microsoft はどう貢献するか

急速に変化するこの時代において、AI や ML などの複雑なタスクを処理するために、モダン データセンターは絶えず進化する必要があります。サーバー インフラストラクチャをモダナイズするためにデル・テクノロジーズを選択するということは、Dell、インテル、Microsoft が共同設計した信頼性の高いソリューションを活用することを意味します。PowerEdge XE サーバーはアクセラレーションに最適化

されており、人工知能(AI)、生成 AI (GenAI)、ハイ パフォーマンス コンピューティング(HPC)に特化した設計となっています。この強力なプラットフォームは、優れたアクセラレーション、多様なアクセラレーターと GPU オプションを備え、アイデアをより迅速に行動に変えられるよう最適化されています。

## インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサーで加速

Dell のソリューションにはインテルの先進的なテクノロジーが組み込まれているため、世界レベルのパフォーマンス、ワークロードの最適化、効率的な電力使用を期待できます。PowerEdge はインテル Xeon プロセッサーを搭載しており、データセンターの内外に簡単に設置できるサーバーがそろっています。PowerEdge シリーズには幅広いアクセラレーターと GPU に最適化されたモデルが含まれており、さまざまな AI ユース ケースをサポートできます。さらに、コンピューティング能力とサステナビリティが飛躍的に進歩しているため、エッジからコアに至る AI ワークロードの大幅なパフォーマンス向上につながります。インテルのプロセッサーとセキュリティ機能は、AI 能力を最適化し、進化する脅威を防ぐように設計されているため、企業が成功するために必要な処理性能と保護を確実にもたらします。

**クラウド対応のオペレーティング システム「Windows Server 2022」でモダナイズし、ハイブリッド機能でオンプレミスへの投資の価値を高める**

Windows Server 2022 の先進的なマルチレイヤー セキュリティは、今日のサーバーが必要とする包括的な保護機能を提供します。Secured-core サーバーと安全な接続によって強化されたセキュリティ機能を備え、先進的な保護と予防的防御メカニズムをサポートしているため、データの整合性とコンプライアンスを確保できます。クラウド対応のオペレーティング システムは、Azure サービスとのシームレスな統合を可能にするハイブリッド機能で、オンプレミスへの投資の価値を高めます。

以上のようなコラボレーションは、インフラストラクチャを確実に合理化し、安全で持続可能なものにします。そのため、企業はデータ集約型かつ AI 主導の環境で優位に立つことができます。Dell、インテル、Microsoft と連携し、最新のワークロード向けに最適化された幅広いサーバーを利用することでどのようにトランسفォーメーションを加速できるのか、詳細をご覧ください。

[詳細はこちら](#)

e-book 全文は[こちらからお読みください。](#)

©TechTarget, Inc. or its subsidiaries. All rights reserved. (不許複製・禁無断転載)。TechTarget および TechTarget のロゴは TechTarget, Inc.の商標または登録商標であり、世界各国の法域で登録されています。BrightTALK、Xtelligent、Enterprise Strategy Group などの他の製品およびサービスの名称とロゴは、TechTarget またはその子会社の商標である場合があります。他のすべての商標、ロゴ、およびブランド名はそれぞれの所有者の所有物です。

本書の記載内容は、TechTarget が信頼を置く情報源からの情報に基づいていますが、その情報を TechTarget が保証するものではありません。本書には、TechTarget の見解が記載されていますが、変更される場合があります。本書には、現在入手可能な情報に基づく TechTarget の推定と期待値から導き出された予想、見通し、他の予測的な記述が含まれている場合があります。これらの予測は業界のトレンドに基づいており、変動要素や不確実性を含んでいます。したがって、TechTarget は、本調査に記載されている特定の予想、見通し、予測的な記述の正確性に関して、いかなる保証もしません。

TechTarget の明示的な同意がない限り、ハードコピー形式や電子的方法などのいずれの方法においても、未承認者に対する複製や転載は、本書の全体または一部にかかわらず、米国著作権法の侵害であり、損害賠償の民事訴訟、および該当する場合は刑事訴追の対象となります。ご不明な点がございましたら、クライアントリレーションズ([cr@esg-global.com](mailto:cr@esg-global.com))にお問い合わせください。